

避難してよかった。

犠牲者0人をめざして

ここでは、今まで『土砂災害』について学習してきたことを思い出しながら、実際に、土砂災害を経験した人々のお話をうかがってみましょう。



レポーターの佐藤がご案内します。

わたしは今、鹿児島県垂水市にきています。



そのことをきっかけに、住民の防災に対する意識が変わり始めたのです。



それでは、皆さんにお話を聞いてみましょう。



あつという間の出来事でした。まだ避難指示がでていなかったで避難していません。



住民の方々と協力しているんですね。



「総合防災訓練」に参加することで、住民に「防災意識」が生まれ、危険を感じたら「みんなで協力して避難する」心構えもできたんじゃない。

「自分の身は、自分で守る。」ことが大切なんじゃない。

※行政とは、国や県、市町村など



あなたの防災意識を教えてください。



では最後に、この本を読んでいる子供たちに一言お願いします。

自然はわからない災害がないとは限らない！

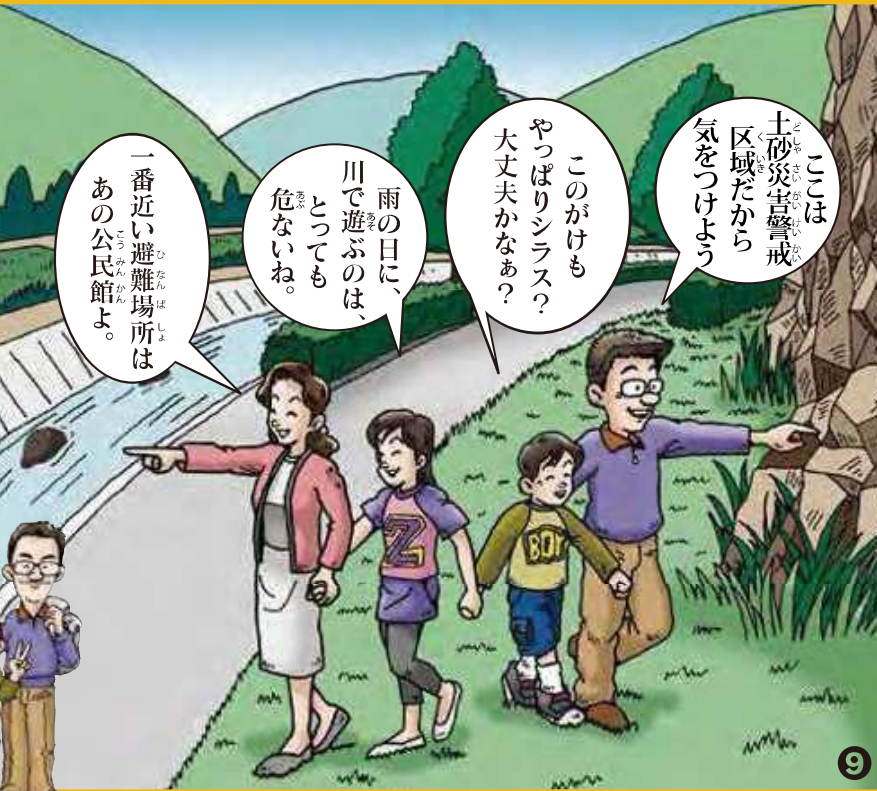
災害はあつという間、早めの避難が大切！

梅雨の前には避難袋の確認！

「まだ大丈夫！」自己判断は危険！

家やものより命が一番！

避難して本当によかった！



ここは土砂災害警戒区域だから気をつけよう。

このがけもやつぱりシラス？大丈夫かなあ？

雨の日に、川で遊ぶのはとても危ないね。

一番近い避難場所はあの公民館よ。



鹿児島県は、崩れやすいので、いつ土砂災害が発生してもおかしくないんじゃない？いざという時の準備は、家族でしておかなければならないよ！

